

## 第24回 揖保川流域委員会 審議結果速報

---

■日時：平成20年1月29日（火）13:00～16:00

■場所：たつの市青少年館 ホール

### 委員会の主な内容

河川管理者より、「揖保川水系河川整備計画段階における環境影響等分析〔環境・社会・経済・技術面での影響分析〕分析報告書（案）における、分析結果の概要について説明がなされました。

#### 1. 環境要素の分析結果について

委員からの主な意見は以下のとおりです。

- 連続性の確保とあるが、魚道が設置されていない堰が多い。
- 丸石河原の再生について、河原が減少している原因を究明して検討していく必要があると考える。
- 希少種、重要な種について、3つの区分（場を整えることで容易に再生できる種、特殊な環境で再生に技術、時間を要する種、再生に広い面積を必要とする種）があるが、いずれも同列に扱われているので区分して評価する必要がある。
- 多くの種が集まるホットスポット（コアゾーン）に着目することも必要である。
- 自然環境は質が大事である。
- 「影響が小さい」と「影響がある」の二通りの表現しかないので、影響の大きさの程度が不明確である。
- アユの生息域等、本文中の表現を統一すること。
- オギ、ツルヨシなどは場をつくれれば容易に再生するので、影響は小さい。
- 環境への配慮について事業費を割り当てて行って欲しい。
- 景観の分析対象に、たたみ堤などの景観を入れて欲しい。

#### 2. 社会的・経済的・技術的課題の分析結果について

委員からの主な意見は以下のとおりです。

- 自治体の総合計画と関連する記述があるが、表面的なレベルにとどまっているので、具体性のある計画にしてほしい。
- まちづくりや景観は一様でないのでゾーンごとに計画を立案してはどうか。
- 被害額が明らかに大きくなるような非現実的な案ははじめからはずして検討していくという方法もあるのではないか

#### 3. 傍聴者からの発言

傍聴者からの発言はありませんでした。

以上